

洛北中高一貫教育の理念

- < 教育の目標 > 未来を切り拓く強い意志
科学に立脚した高い知性と思索力
豊かな感性を持つ人間の育成
- < 育てたい力 > 深い洞察力・論理的思考力・豊かな創造力
- < 目指す生徒像 > 世界に羽ばたく大きな志を持った生徒
知的バランスのとれた生徒
心豊かで、礼節をわきまえた生徒



中高一貫教育のねらいは、長い歴史と伝統を踏まえ、6年間の一貫した教育を通して、ゆとりの中で生きる力をはぐくみ、一人一人の感性を磨き、個性を伸ばし、才能を開花させることにあります。

新たな価値が創造される社会に大きく羽ばたこうとする若者たちには、自ら考え主体的に行動する力が求められています。そのため、ものごとの本質を見抜く深い洞察力や、課題を解決する鋭い論理的思考力、未来を切り拓く豊かな創造力等が必要とされます。

本校では、これらの力を身に付けさせるべく教育理念を掲げ、すべての教職員が全力で取り組んでいます。

生徒が卒業後にどのような分野に進むとしても、変化の激しい現代社会で自ら未来を切り拓いていくには、自然科学の基本的な素養を身に付けることが重要になります。生徒は6年間の一貫した教育の中で自然科学に親しみ、その考え方や学び方の理解を深めます。そのため、本校中高一貫教育の基本コンセプトを「**SCIENCE**（サイエンス）」としました。このコンセプトに沿って、特色ある教育活動を展開します。

京都府立洛北高等学校附属中学校

〒606-0851 京都市左京区下鴨梅ノ木町59
電話 075-781-0020
FAX 075-781-2520



【アクセス】

JR京都駅より

- 市バス（4系統）『洛北高校正門前』下車すぐ
（205系統）『洛北高校前』下車 徒歩5分
- 地下鉄 烏丸線「国際会館行」
『北山』駅下車 徒歩14分
『北大路』駅下車 徒歩18分

京阪出町柳駅より

- 市バス（1系統）『洛北高校前』下車 徒歩5分
（4系統）『洛北高校正門前』下車すぐ
- 京都バス（32・34系統）
『洛北高校前』下車 徒歩5分

京都府立 洛北高等学校附属中学校

令和9年度 学校案内



基本コンセプト SCIENCE

深い洞察力
論理的思考力
豊かな創造力

伝統と創造

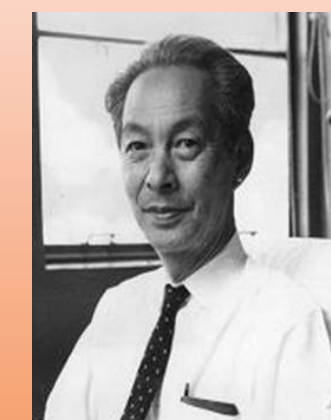
校訓 礼節の実践
学業に邁進
山水の愛護

中高一貫教育に至る沿革

洛北高校は、明治3年12月京都府中学校として開校しました。これは日本最古の中学校であり、その後、京都府第一中学校、京都府立第一中学校、京都府立京都第一中学校と改称し、昭和25年4月京都府立洛北高等学校として創立し現在に至りました。この間、二人のノーベル賞受賞者を輩出したのはじめ、各界において指導的役割を担う高名な人物を次々と世に送り出してきました。そして、平成16年4月より、附属中学校を併設し、中高一貫教育校として、新しい歴史を刻み始めています。



湯川 秀樹
（物理学者）
ノーベル物理学賞受賞
（1949年）



朝永 振一郎
（物理学者）
ノーベル物理学賞受賞
（1965年）

（写真提供：京一中洛北高校同窓会）

洛北における中高一貫教育

洛北高校・洛北高校附属中学校では、中学1年生から高校3年生まで、1000名を超える生徒(令和8年度)が同じ敷地内で学んでいます。その中で、附属中学校入学から高校進学後のサイエンス科での学習まで、6年間の一貫教育が行われています。本校では、この6年間を基礎期・充実期・発展期と3つの段階に分け、計画的、系統的な教育を展開します。

附属 中学校	基礎期 (中1・中2)	小学校までの学習をもとに、各教科の専門知識を固め、さらなる学習の楽しさ、興味を発見する。
	充実期 (中3・高1)	中学・高校の授業内容を再構成して、発展学習へステップアップするためのオールラウンドな力を身に付ける。
	発展期 (高2・高3)	興味・関心や進路希望に応じた科目を選択して、発展的に学習を行い、進路実現に備える。
洛北 高校 サイエンス科		

豊富な授業時間数に基づき、6年間を見通した教育課程により、伝統を引き継ぎ創造的に発展させる、洛北の中高一貫教育がここにあります。

基礎期	中1	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	洛北サイエンス探究 特別の教科選修	学活			
	中2	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	洛北サイエンス探究 特別の教科選修	学活			
充実期	中3	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	洛北サイエンス探究 特別の教科選修	学活			
	高1	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	体育	保健 音楽美術 書道	英語 コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	洛北サイエンス探究			課題探究Ⅰ	LHR	
発展期	高2	論理国語	古典探究	地理総合	体育	保健	Rakuhoku English α	Rakuhoku English β	家庭基礎	日本史探究 世界史探究	洛北サイエンス探究		地学探究Ⅰ	課題探究Ⅱ	LHR
										数学探究β	化学探究Ⅱ	物理学探究Ⅰ	生物学探究Ⅱ	課題探究Ⅱ	
											洛北サイエンス				
高3	論理国語	古典探究	体育	Rakuhoku English α	Rakuhoku English β	日本史特講 世界史特講	政治経済	洛北サイエンス探究		数学探究γ	理科精義	洛北総合選択		LHR	
						数学探究γ	化学探究Ⅱ	物理学探究Ⅱ 生物学探究Ⅱ							

教育課程表 (令和9年度附属中学校1年生及び高校サイエンス科1年生の予定)



7限授業など豊富な授業時間数を活用し、国・社・数・理・英の5教科では、高校学習内容について基礎期から部分的に学びはじめ、充実期となる中学3年生からは、より本格的に高校の学習内容に即した学びを展開します。

中庭には大クスノキと鞍型のテントがあり、登校する生徒を毎朝見守っています。文化祭のときには特設舞台が設置され、様々なパフォーマンスが披露されてにぎわいます。

特色ある教育活動



洛北サイエンス

中高一貫教育の基本コンセプト「SCIENCE(サイエンス)」に沿った教育活動の1つとして、独自教科「洛北サイエンス」があります。探究活動や特別講義、校外学習を実施し、通常の授業では得られない学びの機会となっています。この学習が、高校で実施する課題探究につながっていきます。



国内外の文化体験

洛北附属中学校の生活

制服



夏期はポロシャツ、冬期はブレザーとカッターシャツを基本とする制服です。指定セーターや指定ベストを着用することもできます。スカートではなく、ズボンを選ぶこともできます。ブレザーやズボン、スカートは、洛北高校と共用となっています。

令和8年度設置部活動

- 弓道 ●剣道 ●水泳
- 男子テニス ●女子テニス
- 男子バスケットボール
- 女子バレーボール
- 陸上競技 ●囲碁・将棋
- サイエンス ●書道
- 吹奏楽 ●美術

(体育系8 文科系5)

部活動



研修旅行(中3)



校外学習(中1)



学校行事

研修旅行などの学年ごとの行事や文化祭・体育祭などの中高合同の行事があります。

宿泊研修(中2)



文化祭



体育祭



日本舞踊体験



百人一首大会



洛北高校での学び

個性・能力をのぼす3つのコース

サイエンス科
中高一貫
コース

普通科
文理
コース

普通科
スポーツ
総合専攻

洛北高校は平成16年度から20年以上にわたりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受け、研究開発を続けてきました。これにより培ったノウハウや教育プログラムを継続発展させて、科学技術フロントランナーの育成を目指します。

進路実績

大学名	7年度		6年度		5年度		大学名	7年度		6年度		5年度	
	全体	一貫生	全体	一貫生	全体	一貫生		全体	一貫生	全体	一貫生	全体	一貫生
東京大学	2	2	1	1	3	3	早稲田大学	5	4	5	4	1	0
同志社大学	19	18	16	16	15	15	立命館大学	48	28	57	20	45	15
大阪大学	9	7	10	8	5	2	関西学院大学	124	45	135	37	125	33
神戸大学	9	8	11	7	8	6	関西大学	6	2	7	0	20	5
北海道大学	5	2	4	2	1	1	北道大学	31	8	30	7	26	5
京都工芸繊維大学	11	5	11	5	15	6	関西医科大学	6	4	6	6	1	0
京都府立医科大学	7	5	8	6	5	2	大阪医薬大	4	1	2	2	2	2
滋賀県立大学	4	1	6	3	12	3	京都産業大学	64	11	65	13	54	8
その他	76	27	66	22	82	33	その他	279	23	291	41	282	60
合計	142	75	133	70	146	71	合計	567	126	598	130	556	128
(内 医学部医学科)	(12)	(12)	(13)	(15)	(11)	(11)	(内 医学部医学科)	(5)	(5)	(9)	(9)	(1)	(1)

合格者数は、現役及び過年度生を含む人数です。(令和8年4月現在)

卒業生から



18期生
高橋 菜花

私にとって洛北高等学校附属中学校で過ごした3年間は、多くの方に支えられながら、自分から行動する姿勢と広い視野を学んだ時間でした。生徒会の書記として活動する中で、周囲と協力しながら物事に取り組むことの大切さを学びました。責任ある立場を経験することで、少しずつ自ら考えて動くことができるようになったと感じています。また、オーストラリアを訪問した研修旅行や、その後、洛北高生になってから参加したアメリカでの研修は、異なる文化や価値観に触れ、自分の考えを見つめ直す貴重な機会となりました。英語を使って人と関わる中で、相手と理解し合うことの喜びを実感しました。こうした経験を通して、主体的に挑戦することの大切さと、多様な考えを受け入れる姿勢を学びました。そして、日々温かくご指導くださった先生方や支えてくださった周囲の方々への感謝の気持ちも強くなりました。今後もこの気持ちを忘れず、さらに成長していきたいと思っています。